資料２

**「意思疎通支援部会」について（案）**

**１．目的**

特に専門性の高い意思疎通支援である「盲ろう者通訳・介助」、「手話通訳」、「要約筆記」などを担う者の養成・派遣等のあり方について審議する。

**２．メンバー**

**○部会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属・職名等 | 氏名 | 選定理由 |
| 神戸大学大学院　教授【部会長】 | 河﨑　佳子 | 障がい者福祉に係る学識者 |
| （一財）大阪府視覚障害者福祉協会　副会長 | 宮林　幸子 | 視覚障がい者団体　副会長 |
| 四天王寺大学　名誉教授 | 愼　英弘 | 障がい者福祉に係る学識者 |
| （社福）大阪手をつなぐ育成会　常務理事 | 小尾　隆一 | 知的・発達障がい者団体　理事 |
| （公社）大阪聴力障害者協会　事務局長 | 長宗　政男 | 聴覚障がい者団体　事務局長 |

**３．主な検討の方向性**

○盲ろう者通訳・介助

・平成30年度からの養成研修実施方法の見直しに対する評価（現場実習など）　など

　　　○手話通訳

　　　　・手話通訳者の派遣及び養成のあり方　など

○要約筆記・新たな意思疎通支援

・要約筆記者の派遣及び養成のあり方　など

　・失語症者等への支援のあり方　など

**４．スケジュール（現時点案）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 平成30年６月 |  | 平成31年2月 |
| ○部会  検討方針・進め方の確認 | ○ＷＧ（それぞれ分かれて検討）各１～2回程度  ①盲ろう者通訳・介助  ②手話通訳  ③要約筆記・新たな意思疎通支援　など | ○部会  H30年度における  検討結果のとりまとめ等 |